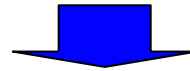


# 工事書類の簡素化の取り組み

## 背景

- 監督職員によって要求する書類がまちまちである。
- 工事書類の中には、工事中や工事完成後においても使用頻度が低い資料がある。
- 建設業界からの「工事書類の簡素化要望」がある。
  - ① 提出書類が多すぎる。
  - ② 電子納品と紙提出の両方を求められる。
  - ③ 資料の再確認(照査)を求められる。
  - ④ 統一化を図って欲しい。
  - ⑤ 設計変更による書類が増加している。



## 取り組み

### 1. 「土木工事施工管理の手引き(工事書類の簡素化編)」の作成・周知等による提出書類の徹底

- ➡ 既に平成21年11月にホームページに掲載済み。( [http://www.qsr.mlit.go.jp/kensetu\\_joho/index\\_07.html](http://www.qsr.mlit.go.jp/kensetu_joho/index_07.html) )
- ① 契約図書上必要のない書類は作成しない。
  - ② 発注者、請負者どちらが作成すべき書類かを明記。
  - ③ 工事書類の作成様式を掲載。
  - ④ 施工体制台帳の作成にあたっての留意事項を明記。

### 2. 更なる工事書類の簡素化

- ➡ 平成21年度 工事書類の必要性や実態を踏まえ、更なる簡素化の検討を実施。

### 3. 新たな技術による効率化

- ➡
- ① ASP活用による情報共有の提出書類の簡略化。
  - ② 電子データを活用した検査の効率化と二重納品排除徹底の検討。